

■ しまねSS講演会が開催されました！

10月17日、出雲市朱鷺会館において、組合が主催し「しまねSS講演会を開催しました。講演会では、全石連坂井常務をお招きし、合成燃料(e-fuel)やEVをめぐる動向といったカーボンニュートラル問題や燃料油価格激変緩和事業、当面の政策要望の動きなどについて詳しく説明いただきました。

激変緩和事業については、政府との交渉経過なども踏まえ、出口戦略については現場が混乱しないようソフトランディングを求めているとの考えを示されました。また、財務省による予算執行調査結果を踏まえ、この補助金が適正に価格転嫁され、消費者に誤解を与えないよう対応をお願いしたいとの協力要請がありました。

また合成燃料については、2030年までに大規模製造プロセスの開発を目指していること、商用化に向けた議論を加速するために官民協議会が立ち上がったことなど説明を受けました。

講演の後、参加者との質疑・意見交換を行い講演会を終了しました。



■ 災害時対応実地訓練を実施しました！

11月6日(日)、飯南町の松江石油(株)(飯盛勝社長)新赤名給油所において「災害時対応実地訓練」を実施し、雲南・邑智地区25名の参加者がありました。

訓練では災害発生による停電を想定し、講師の円城寺昭氏(SOMPORリスクマネジメント(株))の説明を受けながら、実際に緊急用発電機を稼働させ、電源の切り替え、緊急車両への給油、電源の復旧までの一連の流れを確認しました。

訓練終了後の座学も3年ぶりに実施され、分電盤切替の再確認や「災害対応ガイドライン」、南海トラフ地震などについて研修を受けました。

視察参加者からは「マニュアルを見るだけでは動けないので実技での訓練がありよかった」等のお声をいただきました。6月から打合せ、準備を進めてこられた松江石油(株)の皆様、大変お世話になりました。また、視察に参加されました皆様、お疲れさまでした。



発電機電源に切り替え緊急車両への給油



スタッフ、視察者全員を対象に行われた座学